

昭和42年度活動報告

近畿六大学春季リーグ戦

◇4月12日尼崎市々々宮球場

Score table for 4/12 game: 甲南大 000 | 000 | 630 | 9, 神外大 000 | 000 | 000 | 0

▽二塁打吉田(甲)

バッテリー (甲)石川—冠野・清水 (外)奥野—住村

Player statistics for 4/12 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇4月17日尼崎市々々宮球場

Score table for 4/17 game: 甲南大 000 | 300 | 000 | 3, 近大 000 | 001 | 000 | 1

バッテリー (甲)藤田—清水 (近)大西—近藤

Player statistics for 4/17 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇4月20日尼崎市宮記念球場

Score table for 4/20 game: 甲南大 100 | 100 | 5 | 7, 和 大 000 | 000 | 2 | 2

▽本塁打桑原(和) ▽三塁打池ノ上・藤田(甲) ▽二塁打石川・藤田(甲)・雑賀・前田(和)

Player statistics for 4/20 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇4月21日尼崎市々々宮球場

Score table for 4/21 game: 和 大 201 | 000 | 000 | 3, 甲南大 001 | 023 | 00x | 6x

バッテリー (和)永井—中林・雑賀 (甲)藤田—冠野

Player statistics for 4/21 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇4月25日尼崎市々々宮球場

Score table for 4/25 game: 大経大 010 | 030 | 000 | 4, 甲南大 302 | 000 | 00x | 5x

▽三塁打池ノ上(甲) ▽二塁打中藤(経) (甲)藤田・石川—冠野

Player statistics for 4/25 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇4月26日尼崎市々々宮球場

Score table for 4/26 game: 甲南大 000 | 000 | 001 | 1, 大経大 000 | 011 | 01x | 3x

▽三塁打広瀬(経) ▽二塁打池ノ上・山岡(甲) (甲)藤田—冠野 (経)沢村—広瀬

Player statistics for 4/26 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇4月28日尼崎市々々宮球場

Score table for 4/28 game: 神外大 000 | 000 | 000 | 0, 甲南大 102 | 200 | 00x | 5x

バッテリー (外)奥野—住村 (甲)石川—冠野

Player statistics for 4/28 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇5月2日尼崎市々々宮球場

Score table for 5/2 game: 甲南大 400 | 002 | 004 | 10, 神商大 010 | 000 | 400 | 5

バッテリー (甲)藤田・妹尾・石川—冠野 (商)岡田年—長谷川

Player statistics for 5/2 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇5月4日

Score table for 5/4 game: 神商大 000 | 100 | 000 | 1, 甲南大 201 | 020 | 00x | 5x

バッテリー (商)山部—長谷川 (甲)石川—冠野

Player statistics for 5/4 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

◇5月8日尼崎市々々宮球場

Score table for 5/8 game: 近大 000 | 001 | 003 | 4, 甲南大 020 | 200 | 11x | 6x

▽本塁打藤田(甲) ▽二塁打吉田・藤田(甲)・大滝・高橋(近) (甲)藤田—冠野

Player statistics for 5/8 game, including batting averages and fielding percentages for both teams.

League standings table showing wins and losses for various teams like 甲南大, 近畿大, 大経大, etc.

打撃十傑

- Ranking of top 10 hitters: 1位 富井広行 (近) 0.438, 2位 浜中信之 (経) 0.395, etc.

表彰選手

- Award winners: 最高殊勲選手 前田 忍 (甲), 最優秀投手 石川昌雄 (甲) (防御率 0.81)

第19回全日本大会

十年ぶりベスト8へ!

◇8月15日神宮第一球場 第一回戦

甲南大	0	0	0	1	0	0	2	1	0	4
国学院大	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

[甲南大]	打	安	点	[国学院大]	打	安	点
⑧ 住友	4	0	0	⑦ 山	4	0	0
PH7 山	1	0	0	⑤ 藤	2	1	0
④ 前	4	1	0	⑨ 池	4	1	2
⑨ 池	4	2	0	④ 田	4	0	0
⑦8 池	4	2	0	③ 中	3	0	0
③ 吉	3	1	1	① 口	0	0	0
② 藤	3	0	0	⑧ 崎	3	0	0
⑤ 冠	3	1	0	② 本	3	0	0
⑥ 柏	4	0	0	① 木	0	0	0
① 藤	3	1	2	② 橋	2	0	0
計	33	8	3	① 村	0	0	0
				PH3 橋	1	0	0
				⑥ 尾	3	0	0
				計	29	2	2

▽二塁打池ノ上(甲)石川(甲)
▽三塁打吉田(甲)内藤(国)
バッテリー
(甲)石川—冠野
(国)岡村・高橋・山崎—梨木・高橋

戦評

戦前不利を予想された甲南大が石川投手の投打にわたる活躍で見事に関東選手権優勝校の国学院大学を敗った試合であった。四回甲南大は吉田の右中間三塁打を藤田がすぐ左飛で返し、七回には一死後藤田の三遊間安打、すぐ二盗、冠野四球で一塁二塁、粕谷中前安打で満塁とつめよったが藤井サードフライに倒れチャンスをはたかに見えなかったが、この日好投手の石川が一塁頭上を破る二塁打を打ち二点を獲得した。八回にも敵投手のワイルドピッチ等で一点、計四点をあげた。一方、石川投手の軟投に六回まで無安打の国学院は七回先頭の内藤が左中間を破る大三塁打を打ち池田のセカンドゴロで還り一点、九回には敵失と安打等で一点を還したのみだった。結局石川投手の変化球にバットが合わずヒット二本に終わったのが敗因である。又試合に於ける気迫に於ても甲南大の方が数段優っていた様だ。

◇8月16日神宮第二球場 第二回戦

松山商大	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
甲南大	4	0	0	0	0	0	0	0	×	4

[甲南大]	打	安	点	[松山商大]	打	安	点
⑧ 住友	2	0	0	⑤ 上	3	0	0
PH7 山	2	0	0	④ 野	4	1	0
④ 前	2	1	0	⑨ 山	3	1	0
⑨ 池	4	1	0	⑧ 智	4	2	2
⑦8 池	4	2	1	① 越	0	0	1
③ 吉	2	0	0	① 榊	3	0	0
② 藤	4	2	2	⑥ 本	3	0	0
⑤ 冠	4	2	1	⑦ 林	3	0	0
① 藤	3	0	0	⑦ 岩	0	0	0
③ 真	4	0	0	② 山	3	0	0
⑤ 藤	4	0	0	⑦ 本	3	1	0
⑥ 藤	4	0	0	⑧ 本	3	1	0
計	31	8	4	⑧ 木	2	9	5
				計	29	5	3

▽二塁打片山・越智(松)
池ノ上・藤田(甲)
バッテリー
(松)榊・木本—丸岡
(甲)藤田—冠野

戦評

立上り松山商大は甲南大先発の藤田投手の立上りを攻め、正上四球河野は三振に倒れたが片山又四球ここで四番越智が右中間へ二塁打一者を返しなお二三塁、榊の犠牲バントで片山還り二点をあげた。二点を先行された甲南大もすぐその裏一死後前田のショート内野安打、池ノ上左中間二塁打で二塁三塁四番吉田が三遊間を破りまず一点冠野四球で満塁藤田三遊間を破り二点、真木右前安打で一点計四点をあげた。気迫のこもった息もつかせぬ攻撃だった。その後松山商大は六回安打の河野が二盗し四番越智の左中間二塁打で還し一点差とつめよった。一方甲南大は一回途中から代った木元投手に要所をしめられ無得点であった。九回松山商大は先頭片山が左翼線に二塁打ここでこの二本の二塁打を放っている四番越智をむかえ、藤田投手はこれを三球三振に打ち取り続く木元を一塁フライダブルプレイに打ち取って危い試合に終符をうった。相方気迫のこもった好ゲームであった。

◇8月17日神宮第一球場 準々決勝

甲南大	1	0	0	0	0	0	0	2	2	3
東北学院大	1	0	1	0	0	0	0	3	×	5

[甲南大]	打	安	点	[東北学院]	打	安	点
⑧ 住友	2	1	0	⑨ 木	3	1	0
④ 前	4	1	0	④ 友	4	0	0
⑨ 池	4	2	0	⑤ 佐	4	1	1
⑦ 吉	3	1	1	⑥ 木	3	0	0
③ 藤	3	0	0	⑧ 村	4	0	0
② 冠	4	0	0	⑦ 林	3	0	0
⑤ 柏	2	0	0	PH 小	1	1	1
PH 石	1	0	0	① 藤	0	0	0
⑥ 藤	3	0	0	② 山	0	0	0
PH 森	1	0	0	③ 東	2	0	0
① 石	2	0	0	③ 池	1	0	0
PH 山	0	0	0	PH3 山	3	1	2
3 真	1	0	0	① 内	0	0	0
計	30	5	1	① 安	4	3	0
				計	32	7	4

▽二塁打三木(東)丸山(東)
バッテリー
(甲)石川・藤田—冠野
(東)安部・川井・伊東—木皿

戦評

前日に続き朝九時の試合開始、初回先攻の甲南は住友四球、前田の内野安打、池ノ上の左前安打、吉田の左前安打と連安打しながら拙走等で一点に終わった。その裏すぐ東北学院は、先発石川を捕え三木が三塁左を破る二塁打を打ち索制球の悪投で無死三塁という絶好機を向えたが、二・三番が凡打に終わりチャンスは去ったかにみえた。しかし北村の当たりは三塁ゴロ、三塁手が左にはじき寄せずして同点に追いついた。尚も追う立場の東北は三回、エラーの走者をバントで送り、佐々木の三遊間安打で逆転した。その後甲南は走者を出しながら川井の変化球に要所を押えられ、一方東北も立ち直った石川に押えられ淡々と進んだが、八回リリーフした藤田を捕え、二四球、二安打と三点を奪い勝負を決定づけた。しかし九回に入り疲れの見えた川井をつかまえ、池ノ上の安打、吉田四球と最後まで食い下がったが結局この二点止まりで球運は最後まで甲南に味方をしてくれなかった。

全近畿大会

◇6月12日於尼崎市宮橋球場

神商大	0	0	0	1	0	0	0	1
甲南大	0	1	0	0	1	2	3	1

▽本塁打藤田(甲) バッテリー
▽二塁打岡田(年)(商) 岡田(昌)(商) (甲)石川—冠野

◇6月13日於尼崎市宮橋球場 準々決勝

甲南大	0	0	0	0	0	0	2	2
同志社大	4	0	4	2	0	0	×	10

▽本塁打河崎(同)吉田(甲) バッテリー
▽三塁打河崎(同) (甲)藤田・石川—冠野
(同)山田—河崎

近畿六大学秋季リーグ戦

◇9月4日西宮市民球場

神外大	0	0	0	0	0	0	0	0
甲南大	3	0	1	0	0	6	2	0

▽二塁打村上・真木・藤田(甲)
バッテリー
(外)奥野・室津—住村
(甲)藤田・藤井—清水・冠野

◇9月5日西宮市民球場

甲南大	1	0	1	1	0	0	0	1
神外大	0	0	0	0	0	0	0	5

▽二塁打山岡(甲)
▽二塁打村上・石原・真木・清水(甲)住村・室津(外)
バッテリー
(甲)藤井・石川—清水
(外)室津・奥野—住村

◇9月7日西宮市民球場

神商大	0	0	0	0	4	0	0	0
甲南大	1	0	0	3	0	0	0	0

▽二塁打真木(甲)岡田(昌)(商)
▽三塁打長谷川(商)
バッテリー
(商)岡田(裕)・天白—長谷川
(甲)藤田—清水

◇9月8日西宮市民球場

甲南大	0	0	3	0	0	0	1	0
神商大	0	0	0	1	0	0	1	0

▽二塁打村上(甲)
バッテリー
(甲)藤井—清水
(商)岡田(裕)—長谷川

◇9月11日西宮市民球場

和 大	0	0	0	0	0	4	3	0
甲南大	7	0	3	1	0	0	0	×

▽二塁打藤山・本田・桑原2・浦田・田村(和)
粕谷・藤井(甲)
▽二塁打藤井(甲)
バッテリー
(和)加藤・本田—雑賀
(甲)藤井・藤田—清水

◇9月12日西宮市民球場

甲南大	0	1	3	0	0	3	0	6
和 大	0	0	0	0	0	0	1	0

▽二塁打石原2(甲)藤山・加藤・岡村(和)
▽三塁打藤田(甲)
バッテリー
(甲)藤田—清水
(和)本田・永井—雑賀

◇10月17日西宮市民球場

大経大	0	0	0	1	0	1	0	2
甲南大	0	0	0	4	0	0	0	0

▽二塁打藤井(甲)古井(経)
バッテリー
(経)浜中—宮城
(甲)藤田—清水

◇10月19日西宮市民球場

甲南大	1	0	0	2	0	0	0	0
大経大	0	0	0	0	5	0	0	×

▽三塁打土屋(経)
▽二塁打石原・住友(甲)
バッテリー
(甲)藤田・藤井・藤田・石川—清水
(経)土屋・浜中—宮城

◇10月24日西宮市民球場

近大	0	2	0	0	0	0	0	3	5
甲南大	0	0	0	0	0	5	1	×	6

マ三塁打原(甲)
マ二塁打高橋・藤本・大西(近)
村上・真木・藤田(甲)
バッテリー
(近)高橋一・藤本・渡久地
(甲)藤井・藤田一・清水

◇10月26日西宮市民球場

甲南大	0	0	0	0	0	3	0	1	4
近大	0	2	0	1	0	0	0	0	3

マ二塁打住友2(甲)天津(近)
バッテリー
(甲)藤田一・清水
(近)大西一・渡久地

表彰選手
盗塁王 12個 山岡勝優
最高殊勲選手 木戸(経)
最優秀投手 浜中信之(経)

チーム名	大経大	甲南大	近畿大	神外大	神商大	和歌山大	勝分
大経大	●	1	1	2	2	2	8 1
甲南大	0	●	2	2	1	2	7 2
近畿大	1	0	●	1	2	2	6 0
神外大	0	0	1	●	1	1	3 0
神商大	0	0	0	1	●	1	2 1
和歌山大	1	0	0	1	1	●	2 0
敗数	1	1	4	7	7	8	

打撃十傑

1位	古井 秀人(経)	0.500
2位	中藤 利和(経)	0.400
3位	本田由良夫(和)	0.343
4位	大内 幸夫(経)	0.333
4位	住友 康人(甲)	0.333
4位	村上 啓(甲)	0.333
7位	宮城 一(経)	0.325
8位	藤井 富雄(甲)	0.324
9位	岡田 年博(商)	0.321
10位	藤山 利宏(和)	0.313

学習院大学定期戦

◇11月6日甲南大

学習院	1	0	0	0	0	0	0	1
甲南大	0	5	3	2	3	4	0	0

マ本塁打森田(甲)
マ三塁打吉本(学)
マ二塁打清水・森田(甲)
バッテリー
(学)岩本・吉本・久米
(甲)藤田・石川・清水・冠野

◇11月7日

学習院	2	0	0	1	0	0	0	4
甲南大	0	0	0	2	0	1	0	0

マ本塁打渡辺(学)
マ二塁打吉本(学)・真木(甲)
バッテリー
(学)吉本・渡辺・久米
(甲)藤井・清水

甲球第2号発刊にあたり

前主将 前田 忍(十四回生)

此の度“甲球”第二号発刊にあたり、何でも良いから書いてくれと云われ、苦手な文章ですが思いのままに書かせて頂きます。

小生が四十一年の夏、主将に任命された時は、今迄の輝かしい伝統、それに先輩方の功績等を傷つけまい、そしてもっと前進させようと新たなファイトと情熱が湧いてきたものでしたが、最初の夏の合宿で、いささかこの役目が嫌になりかけた事がありました。この時一番感じた事は、個人個人がいくらすぐれた技術を持っていても、全体の“和”がなければそれを生かす事ができないという事でした。以後、最上級生である小生を筆頭に、主務の坂田三吉、副将のニヒル吉田、同じく副将で下級生に文句を云い嫌われ役になってくれた池の上、四年になり急に上手くなった努力のエース石川、それをよく助けてくれた冠野、四年の後半から家庭の事情で練習には参加しなかったが皆から親しまれたモスラこと松本、以上七名が協力し、チーム内の“和”を第一に練習、試合、合宿と励んできました。現役から退いた今思うと、もっと厳しくいろいろな練習をし、もっと立派な成果をあげられたのではないかと後悔しています。小生の感じる所、ここ二三年、この部特有の厳しさというか、上下関係のへだたりがなくなってきたように思える。入部してきた時は、調子のいい事を云われて入ってきたり、遊び半分が入ってくる者が大半だと思うが入部した以上はこの部の伝統を守り通して欲しいと思う。練習、合宿など、も

っとスパルタ的になっても良いのではないかと。スパルタ的に厳しくきたえられる事により練習にも張りができて、又、それに耐えられる体力と精神とは実社会に出てからも多に役立つ事と思う。これからは少しでもそうしてもらいたい。この一年間、先輩諸氏からいろいろと叱言を頂き、それは我々がより向上するようおっしゃって下さっているとは解っているのです。しかし我々は我々なりに精一杯考えた上でこれで良しと思ってやっている事なので、忠告は大変有難いのですけれどもその点も御一考願いたいと思います。とにかくこの一年間、春季リーグ戦、優勝全日本大会でも一回戦、二回戦と勝ち、惜しくも準々決勝で敗れはしましたが、思い残す事なく最後を飾れて嬉しく思っています。我々は、合宿を三回したが、使用したグラウンドがすべて良くなく、一日か二日はそのグラウンド整備に費した事を思い出す。なかでも最初の夏の合宿地、広野では、文章で表現できない程でたため、夏の厳しい暑さのなかを一日半もかけて、全員が土方まがいの事をしたのを思い出す。おかげで、全員グラウンド整備の方はなかなかうまくなった。いろいろと投げだしたくなるような事もあったが、学生時代を準硬式野球部に籍を置き、先輩、同輩、下級生となごやかに又、一生けん命に練習でき大変意義深かったと思っています。下級生諸君、この“甲球”を読み、これ迄の先輩方がどのように厳しい練習に耐え、今日に至ったか、準硬式野球部の伝統がどんなに輝かしいものであるかを再認識し、今よりも尚一層前進されるよう期待しています。

なごやかな中にも厳しさあり（甲球 第2号より）

現主将 真木 慎一郎

此の度甲球第二号発刊される事になり現在主将を勤めさせて頂いております。私にも何か原稿をと云うことですので一筆させて頂きます。月日の過つのは早いもので私が入部したときに甲球の創刊号が発刊され早や三年、今から思えば苦しかった事、辛かった事すべて楽しい愉快な思い出となって浮んできます。再三、再四に渡る入部の勧誘の末準硬式野球部に入部致しましたが当部に入って非常に良かったと思います。西日本大会あるいは全日本大会に出場出来しかも試合に出場出来ました事はこの上ない幸せ者と思います。

昨年夏に前主将の前田さんから引き継ぎ主将という重荷を背負わされましたが部員の協力あり、OB会長の梶木さんを始めとし諸先輩の御指導を受けまがりなりにも任務を遂行致しております。私が当部に入部してまず第一に印象づけられた事は非常になごやかなムードの中で練習その他、部生活が送れるという事です。しかしなごやかな中にも厳しさがありユニホームを着れば部員一人一人がライバルであり、一つの球を追う時も、バッティングの時も一球一球力をこめ「あいつには、あの人には敗れるか。」という競争心でプレイをし、又ユニフォームを脱ぐと良き友であり、良き先輩である。それが準硬であり、又部生活を有意義にする本当の姿ではないかと考えます。

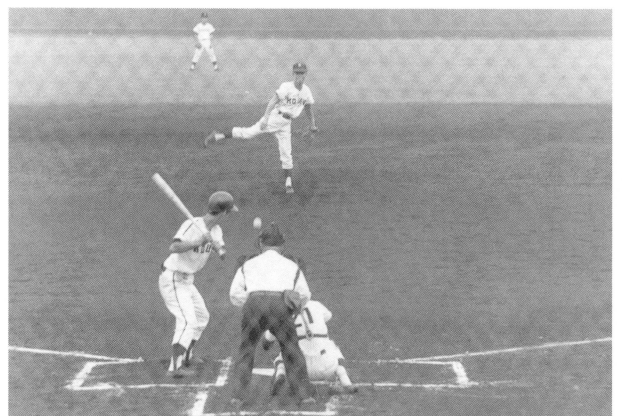
最近甲南大学の体育部の成績が低下し、先輩諸氏にはご迷惑をおかけしておりますが、現在当部は以前の先輩諸兄がきずいて下さった常勝のチームへ少しでも、もどそうと努力をしております。勝ってこそ部生活の良さも味わえるというもので勝負には勝つことあるのみだと思えます。OB戦等で先輩から「三位も最下位も同じだ、優勝しなければいけない」とよくハッパをかけられた事がありました。幸いに昨春リーグ戦で優勝という貴重な経験をさせて頂きやはり勝てなくては、勝負には「勝利」しか他は何も無いのだという事がひしひしと感じられました。今、過去を振り返ると一番辛かった一年生の頃が真さきに思い浮び苦しかった合宿、フトンのあげおろしから部屋の掃除、食事の用意、あとかたづけ、そしてグラウンドに飛び出してグラウンドならしが終ると休み間もなくすぐに練習そしてボール拾い、キーパー、バッティング、キャッチャーとして一日中酷使され、又ノックでは先輩に怒鳴られ励まされた事、又試合では先輩のグラブを受け取りに行くバットを引きに行った事等、今となっては、すべて楽しい思い出となり同級生あるいは下級生への話しのタネとなって残っております。今後さらにこの部の「和」と云うものを固めて行きたいと思っております。

全日本大会の思い出

43年卒業 石川 昌雄

私たちの学生の回顧録をといわれましたが、それは私が思うに、全日本大会の対国学院戦に集約されます。1回戦の相手が関東選手権で優勝した国学院大とわかり、この関東代表のチームに勝てば今までの先輩達の復讐ができると意気込んだものです。しかしこの試合に私が、投げさせてもらえるか、少し心配でしたが、キャプテンのべーこと前田から先発を言われた（試合の前日）時、キャッチャーの冠野と初球何を投げるか相談しカーブに決め試合に臨みました。試合開始が近づくにつれ何度も出そうで出ない小便にかよい緊張しきって、1回先頭打者に投げたそのカーブが、バックネットに当たった時（暴投）肩の力が抜けたのか後は、楽に投げられ、相手もあまり打たず、又打撃陣の方は、吉田、池の上等が打ち、勝つことができました。2回戦は、松山商大と当りましたが前年西日本で勝っているの、楽勝と思っていたが藤田君の力投等で、ようやく勝つことができ、これならヒョとしたら次も、その次も勝てるのでは（優勝？）と正直思いました。

準々決勝の東北学院の試合です。私が投げましたが、体力がなかったのか6回までしかもたなくて負けてしまいました。この時負けたけれども、私自身感じたことは、近いうちに甲南野球は、全国制覇できるのではと思えました。（2000.3.25）



対 国学院大戦 2球目(逆球)

